

鍼灸マッサージ治療を健康保険で受診できるよう

医療を考える会

住所:渋谷区代々木2-24-7代々木グリーンハイム210号

TEL:03-3375-6151 / FAX 03-3299-5275

メールアドレス : iryo-kangaeru@waltz.ocn.ne.jp

発行元 : NPO 法人医療を考える会

第6回定期総会開催

平成22年11月28日(日)に〈NPO法人医療を考える会〉の第6回総会が開催されました。

まず、代表理事・相葉計佳氏より挨拶がありました。「皆様のご協力のおかげで6回目の総会を迎えられました。私は老兵の身ではありますが、病める人たちのことを考えると、何としても伝統医療・鍼灸マッサージが保険で受けられるようさらに活動していきたいと思えます。

現状は、委任払いが委任拒否の方向に向かっております。平成22年10月には当会と〈一般社団法人 鍼灸マッサージ師会〉、兵庫県、関西等の団体が、民主党渡辺浩一郎議員の紹介で〈日本労働組合総連合会〉と第1回目の話し合いをしました。第2回は12月6日に決定しています。患者・施術者、さらに同じ要求をもつ他団体が共に声をあげていきましょう。」

続いて来賓の山口富靖氏〈医療保険を考える会(神奈川県)〉、〈鍼灸マッサージ師会〉事務局長の清水一雄氏から総会開催のお祝いの言葉をいただ

き、国民として鍼灸マッサージを受けやすくなるようお互い手を取り合って訴えていきたいと思いますとのお話がありました。



また、元歯科医師でもある患者さんの早河さんからも「相葉先生に診ていただいて水頭症・パーキンソンの認知症様症状も出ず、手も震えずにいられ心強い限りです。良くなっていますのでこのまま鍼灸で治していきたいと思えます。鍼灸師の皆さんの立場を国会に陳情し、制度改革をしていこうと思えます。」とのお話をいただきました。

ここで、議長の瀬川信幸氏から出席数正会員107名中20名、委任状47名により過半数に達し、総会が成立し

ていることを確認しました。

以下順次議案に従い、活動報告・会計報告・監査報告・来年度の活動方針・予算案・事務所移転に伴う定款変更について等が発表され、いずれも承認されました。最後に新年度の理事の選出について話し合いが行われ、事前に推薦されていた武井氏と、当日推薦



された早川氏が拍手をもって承認され、前期理事に加わることとなりました。

短時間に凝縮された総会でしたが、来年度もさらに活動を充実させることを誓い、終了いたしました。来年度の活動方針は別紙にてお知らせいたします。

[平成22・23年度理事（50音順）]

相葉	計佳
岩下	幸卯
木幡	久美子
久下	勝通
瀬川	信幸
高橋	養藏
武井	百代
田中	榮子
早川	淳
平田	啓三
松原	幸靖
山口	充子
山西	俊夫

*「委任払い」とは…保険申請の複雑な業務を代行する団体に保険請求と支払金の受け取り業務を委任すること。

*「委任拒否」とは…保険申請業務を委任することについて拒否すること。患者が直接保険申請を行うよう求めている。

定款変更事項

第1章 総則

第2条

この法人は、主たる事務所を東京都渋谷区代々木二丁目24番7号代々木グリーンハイム210号に置く。

↓

この法人は、主たる事務所を平成22年12月15日より東京都渋谷区代々木二丁目39番7号メゾン代々木201号に置く。

変更理由：事務所を共有している〈一般社団法人 鍼灸マッサージ師会〉の事務所が移転するため

第3章 役員等

第13条

(1) 理事 5人以上10人以内

↓

(1) 理事 10人以上15人以内

変更理由：理事人数が常時不足のため

講演会「東洋医学で健康を守る 健康ツボ教室」

講師 鈴木暹氏 NPO 法人けんこうIZU 理事長

ぜひ「陶器灸 NPO けんこうIZU」で検索してく

NPO 総会終了後 15:00 より、鈴木 暹先生による「疲労をとる健康ツボの講習会」が開催されました。

まず鈴木先生が静岡県で行っている、東洋医学の普及活動と陶器灸を開発するまでの、試行錯誤から現在に至るまでの経歴のお話がありました。

平成 22 年度は年間 47 回の健康教室を開催する予定で、本日までに 2/3 くらい終わっているということでした。



すぐに、竹串を使ったツボ刺激療法の実技講習に入り、最初に立位で前屈をして、各自、自らの腰の硬さがどの程度かを確認してもらいました。その後、竹串で足の爪の付け根の左右のツボ 10 ヶ所を、3 回づつ押していきました。すべて押した後、もう一度、立位で前屈をしてみると参加者全員が、「あら不思議」と、腰が柔らかくなったのを実感することが出来ました。次に陶器灸の説明がありました。陶器の壺に入れる炭の種類は 2 種類あり、1 つはカマヤミのもぐさを炭にしたものと、線香の原料を炭にしたものです。線香の原料で作った炭は、現在も鈴木先生が安全性を研究開発しているとのこと。この療法の詳しいことは、鈴木先生のホームページで公開されていますので、

ださい。鈴木先生は以前から患者が裸にならなくても出来るお灸はないのか、お灸＝古臭いというのではなく、時代に受け入れられる灸



治療とは何かを考えてきたそうです。また、この陶器灸を使って家族の人の治療をした方から大変感謝されたことが印象に残っているとお話がありました。技術の稚拙ではなく、家族が身内の患者の面倒をみれたという満足感があつたということでした。

実践面での注意事項としては、陶器灸を皮膚に直にする時は、ハンカチをかけてから陶器灸を当てます。熱い時はハンカチを折り重ねて対処します。炭の扱いに対する注意点は、炭全体が赤くならないうちに壺にいれると消え



てしまうので気をつけて下さいとの事でした。
また、直接灸ではないので刺激量の過剰については、心配しなくてもよいとの事です。



講習会の資料、申し込みは事務所までご連絡下さい。
また、ご自分の地域、サークルでの実技指導を希望される方は、その旨、事務所にご相談下さい。

「健康ツボ教室」に参加して

本多 礼子

今回「健康ツボ教室」を主催されているNPO法人「けんこうIZU」代表の鈴木先生のお話を聞かせていただきました。



日頃、西洋医学中心の考え方をする人達と接することが多く、東洋医学的な考え方を受け入れてもらうことの難しさを感じています。鈴木先生のNPO活動の話を知り、ツボ刺激に身近にある竹串を使用することを発想され、陶器灸の普及に健康講座を年間47回も主催されているなど、精力的に活動されているご様子に少々驚かされました。

鈴木先生のように一般の方々に東洋医学の考え方を広め、理解を深めていただく活動は本当に大切なことだと思います。薬に頼らず、自分の健康を維持する方法を皆さんに知ってもらうことは私たちの大事な仕事であるということを知っていただいたように思います。

陶器灸の実技では、その気持ち良さを体感できました。特に「百会（ひゃくえ）」の灸は、髪が焼けたりしてなかなかうまくできないので、陶器灸は最も適した方法に思えました。様々な創意・工夫をされていることに刺激を受け、大変勉強になりました。ありがとうございました。



鈴木 暹先生を囲んでの懇親会

H22年11月28日講演会の後17:00から、代々木八幡のトミガヤテラスで懇親会が行われました。鳥海先生の乾杯の声で始まり、今日の講習会について、各参加者のコメントが話されました。

A.S (施術師) 4年前から鈴木先生の講習会に参加して
ました。先生は国学院大学で文学を専
攻していたので、鍼灸以外にも造詣が
深く、話題が豊富であるという意味で、
もう一つ魅力ある刀を持っていると言
えます。



一見穏やかな方に見えますが、すごい情
熱家で、自由な発想が出来る人です。ま
た、我慢強い努力家であり、ひとつのこ
とを追及し、進化させていく継続力を持
っています。「けんこう IZU」に参加されている、お仲間の鍼灸師の先生方も鈴木先生
を中心にまともっています。その点にも先生の誠実な人柄の反映が現れていると思っ
ています。

Y.M (施術師) 今日の講習会でお灸の良さを見直しました。昔と違い各家庭でもぐさのある家なくな
ってきました。私は現在、灸治療はしていないのですが、今日新たな刺激を受けて、ま
た再開してみようと考えています。

Y.I (施術師) 今後とも、こういった講習会を続けてもらいたい。

S.S (施術師) 自分は板橋三療師会に所属していますが、当会の勉強会は西洋医学的なものばかりな
ので、今日の講習会は勉強になりました。

N.S (施術師) 鈴木先生との出会いにより、鍼灸師としての基礎が出来たと思っています。来年は東
京でも先生の治療法を進めていきたい。

T.Y (患者男) 患者代表として東洋医学を広めるために、これからも頑張っていきます。今日皆さんの
元気で力強い話を聞いていて、若い情熱を詠った、ウルマンの「青春」の詩を思い出
しました。

K.K (施術師) いろんな団体はあるが、鍼灸に対して一番真剣に取り組んでいるのは、この団体だと
思っています。たとえば厚労省に対して、鍼灸師の立場を代弁するために、陳情におも
むいたりする活動には、私も参加して少しでも鍼灸師を取り巻く環境がよくなればと思
っています。

E.T (施術師) 鈴木先生の創意工夫を学んでいきたい。鍼灸マッサージ治療が健康保険をあたりまえに
使えるようにしていきたい。

T.Y (施術師) 若い人を育てて世代交代をはかりたい。大手の健保組合の不支給には抗議していきま
す。

鈴木暹先生 食べていくことの出来る鍼灸師が増えて欲しい。陶器灸からは遠赤外線が放出されてい
ます。鍼灸の治療法はいろいろあるが、鈴木式というのでも作りたいと思っています。助

成金制度の研究をしてみることも大事なのでは。

M.Y (事務局) 助成金に頼るよりも、まともに仕事をすれば報酬を貰えるような方法でないと続かないのでは・・・。

K.S (施術師) 91 歳になる同居の母親が認知症により、夜中に夫婦の寝室に来て「お腹がすいた、何か食べさせて」等、だんだん認知が進んできて苦労しています。
最近ではデイケアやショートステイに行き少し助かっています。

K.K (患者女) 今日はユニークな治療法の講演で大変よかったと思います、もう少し時間があつたほうが良かったのではと思います。

M.K (施術師) 鈴木先生とは以前の会からのお付き合いで、もう 7 年くらいになります。共にいろいろな事があり、苦労しましたが、その時から先生の誠実な人柄は変わりません。今は地元で東洋医学を広く一般の方に、普及される活動を頑張っているようで感心しています。

H.A (施術師) 今まで直接灸でやっていましたが、今日の講演を参考に工夫してみたいと思います。

K.T (施術師) 小さな子供が 3 人いるため、大変ですが頑張ります。



各々の話にお人柄や状況が見え、交流が深まる場となりました。

今後の予定

○事務所移転 ～平成22年12月15日(水)～

移転に伴い15・16日は電話・FAXが繋がりにくくなりますのでご了承ください。

新住所は改めてお知らせいたします。

○千駄ヶ谷社協館まつり

～平成 23 年 2 月 27 日(日)～

編集後記

*講演会では皆さん「ツボはここかな?」「結構熱くなるんだねえ」「煙が出ないし熱くなったらすぐ離せばいいしこれはいい」など和気藹々と話しながら体験できました。私も施術師の先生とペアを組んだおかげでちゃっかりツボを教わったり、陶器灸をしてもらえ、得した気分になりました。次回の講演会も楽しみです。

*現在の事務所から徒歩5分ほどの場所に引っ越しをいたします。お近くにいらしたら、ぜひお立ち寄りください。

*総会と講演会に参加された方、ぜひご感想をお寄せください。また、以前にお送りしましたNPO活動一般に関するアンケートについて、まだの方はご回答下さるようお願いいたします。

